



第 15 回学術大会開催報告

一般社団法人山梨県言語聴覚士会 第 15 回学術大会
大会長 吉澤 由香

令和 5 年 12 月 17 日（日）に一般社団法人山梨県言語聴覚士会第 15 回学術大会をオンラインで開催いたしました。県外からの参加もあり、83 名（県士会員 78 名）の方にご参加いただき、盛会のうちに終了することができました。今大会では、当士会の強みである所属を超えたつながりを活かし、言語聴覚士を必要とする方々の未来を、ひいては山梨県の言語聴覚療法の未来を明るくものにしていきたいといった想いを込め、「つなぐ つながる つくる～言語聴覚領域の未来～」をテーマに掲げました。



この想いを果たすべく、特別講演では、飯干紀代子先生（志学館大学）をお招きし、「認知症の人へのコミュニケーション支援—神経心理学的な視点で分析する・生活を支える・ICT を活用してみる—」と題して、認知症の人の残存能力を評価し、メモリーブック等を通じて、その方の人生に介入する重要性などをお話いただきました。また、シンポジウム「つなぐ つながる つくる～回復期セラピストマネジャーの挑戦～」では、岡崎裕香先生（長崎リハビリテーション病院）、渡邊光子先生（西広島リハビリテーション病院）をお招きし、患者が望むゴールに向かって計画的に多職種やそのチームをマネジメントする先進的な取り組みをいくつも知ることができました。さらに、一般演題では 7 名の先生方にご発表いただき、医療・介護・教育分野と多岐にわたる発表に、活発な意見交換が行われました。また、40 施設からご協力いただいた施設紹介動画や、学術大会の過程動画も見ていただくことができ、オンラインでありながらもお互いの顔や職場を知った上で改めてつながるきっかけになったのではないかと思います。いずれの企画におきましても皆様のご協力により大会テーマにふさわしい大変充実した内容となり、改めて感謝申し上げます。

末筆ながら、特別講演やシンポジウムをお引き受けいただいた先生方、ご後援いただいた諸団体、演題発表して下さった先生方、査読委員・座長の先生方、そして今大会の企画・運営に多大なるご協力をいただきました実行委員長をはじめ、実行委員の皆様へ深く感謝申し上げます。

《目次》 P1…第 15 回学術大会開催報告	P2～5…学術大会開催内容報告	
P6…秋期都道府県士会会長会議報告	P7…失語症者向け意思疎通支援事業報告	P8…ミニ講座
P9…県士会お仕事紹介 3	P10…理事会報告	P11…各局・委員会からのお知らせ

一般社団法人山梨県言語聴覚士会 第15回学術大会 開催報告

学会テーマ：つなぐ つながる つくる ～言語聴覚領域の未来～

日時

令和5年
12月17日(日)

開催方法

オンライン開催
(Zoom)

特別講演：認知症の人へのコミュニケーション支援

ー神経心理学的な視点で分析する・生活を支える・ICTを活用してみるー

講師：志学館大学 飯干紀代子先生(写真左) 座長：吉澤由香大会長(写真右)



認知症についての基本的な捉え方・診方についてのお話から、生活支援での実際まで様々な内容が学べました。特にメモリーブックについての紹介では、日本に導入する際の先生の苦勞された点もお聞きすることができました。

シンポジウム：つなぐ つながる つくる ～回復期セラピストマネージャーの挑戦～

講師：長崎リハビリテーション病院 岡崎裕香先生(写真左)

講師：西広島リハビリテーション病院 渡邊光子先生(写真右)

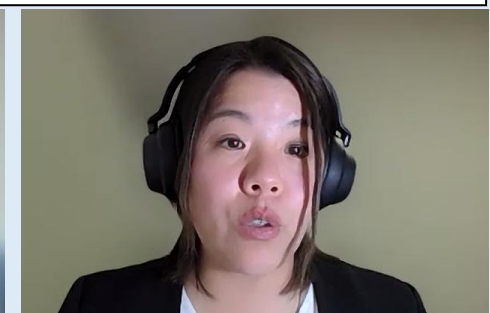
座長：内山量史会長(写真中央)



病棟やリハビリ全体を統括されているセラマネの先生お二人の講義は、とても勉強になりました。

口演1 座長：武井徳子先生(写真左) 口演2 座長：梶原さわか先生(写真中央)

学会司会：舟越あゆみ先生(写真右)



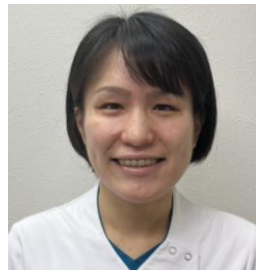
今年の学術大会でも、全ての一般演題に対して2～3の質疑応答があり、活発なディスカッションが行われました。

一般社団法人山梨県言語聴覚士会
第15回学術大会発表記

発表された7名の先生からの一言！



春日居総合リハビリテーション病院 志摩美月



「当院回復期リハビリテーション病棟における経管栄養離脱率と阻害要因について」という内容で発表をさせていただきました。データ収集を通し、当院の現状や自身の臨床を振り返る契機になりました。又、患者さんにとって質の高い

リハビリを提供するためには、他職種との連携が欠かせないことを再認識しました。今回の経験を、日々の臨床や今後の活動に活かしていきたいと思います。貴重な機会をいただきありがとうございました。

山梨県立中央病院 依田 華



一般演題で、『当院の摂食嚥下障害へのアプローチと今後の展望』について発表をさせていただきました。学術大会での発表は初めてであり、データの取り方や抄録のまとめ方等、先輩方にご指導を頂きながら本番を迎えることができました。今回の発表を行い、これまでの取り組み方を客観視することができました。ご助言頂いた内容をこれからの診療に活かしていけるよう、なお一層努力していきたいと思っています。

の発表を行い、これまでの取り組み方を客観視することができました。ご助言頂いた内容をこれからの診療に活かしていけるよう、なお一層努力していきたいと思っています。

甲府城南病院 小室 良



今回、「右半球損傷により漢字の書取に特徴的な書字障害を呈した一症例」をテーマに発表させていただきました。発表を通して、プレゼンテーションや質疑応答の難しさを痛感致しましたが、自分のスキルアップに繋がる経験ができたと感じました。また、特別講演やシンポジウムでは、急性期・回復期と地域・在宅をどのように評価・支援を連携していくべきか認識できました。今後、学んだことを臨床に活かしていきたいと思っています。

また、特別講演やシンポジウムでは、急性期・回復期と地域・在宅をどのように評価・支援を連携していくべきか認識できました。今後、学んだことを臨床に活かしていきたいと思っています。

甲州リハビリテーション病院 土井 未沙貴



学術大会を終えて、研究発表を通して学べたことが多々あったと実感しています。普段の臨床だけでは、深められなかった視点や症状の見方を学ぶことが出来ました。初めての研究であったため、不慣れな点が多く何度も研究データの分析を

繰り返したり、混乱してしまうことがありましたが徐々に失語に対する理解が深まりました。今回、発表を通して学んだ点を今後の臨床に活かし、患者さんに還元できるように努めていきたいと思っています。

石和共立病院 本間 隆之



第15回学術大会で発表の機会を与えていただきありがとうございました。日頃は同じ小児領域の中での話しになってしまうので、外部の先生方に観て頂くことを意識して資料を作ることは、自分にとって良い研鑽の機会になりました。

学術大会のテーマに「言語聴覚領域の未来」とあり、STに求められる役割、それらをどのように患者様の生活に役立ていくのか、自分の中で再認識することができました。

山梨県立ろう学校 藤田 芝圭美



この度、山梨県言語聴覚士会第15回学術大会の一般演題で発表する機会を頂きありがとうございました。質問も頂き、私自身も改めて発表内容について考え直すことができ、学びの多い時間となりました。学校でのSTの活躍は、まだまだ確立したものがなく、どの様に需要を拾い広げていけるかが大事だと思っています。今後、山梨県でも特別支援教育をはじめ小児領域の実践、発表が盛り上がり

いく事を期待しています。

山梨市立牧丘病院 和泉 裕二



今回、「筋萎縮性側索硬化症利用者の誤嚥防止術後の摂食嚥下アプローチ」という演題で発表させていただきました。利用者方から「進行し、死へ向かうなかでも日々のリハビリの大切さを食べるという目的を通して実感することが出来た」。

そして、「目標を持つ事の大切さを痛感した」と教えてくれました。訪問リハビリで、検査の場にも行けず、暗中模索の状況で諦めない想いを共有し、取り組めたこと利用者・御家族に感謝申し上げます。

企画 1 学術大会 過程紹介動画

大会終盤の休憩時間に、学術大会が開催されるまでの過程を記した動画が公開されました。

普段、大会を支える実行委員にスポットライトが当たることはなかなか無いですが、大会テーマの決定に始まり、当日の開催に至るまで、いつ頃から、そしてどのように準備を進めていくのかを知ることができました。多くの実行委員会の皆様の活躍があって大会が成り立っているのだと改めて実感しました。

実行委員の皆様、お疲れさまでした、そしてありがとうございました！



写真 当日オンライン上で参加されたST



図 学術大会当日使用したスライドのイメージ



企画2 施設紹介

学術大会の休憩時間に施設紹介の動画が放映されました。県内の5つのエリア毎に、そこに属する施設が順番に紹介されました。どの施設も趣向を凝らしたスライドで、それぞれの施設の雰囲気や特徴を知ることができました。

**ありがとう
ございました**



企画にご参加いただいた会員施設

- | | | |
|-----------------------------|---------------------|------------------|
| 笛吹中央病院 | 山梨市立牧丘病院 | 石和共立病院 |
| 石和温泉病院 | 山梨リハビリテーション病院 | 春日居総合リハビリテーション病院 |
| 甲州リハビリテーション病院 | 勝沼ナーシングセンター | 山梨県立ろう学校 |
| 山梨赤十字病院 | ツル虎ノ門外科・リハビリテーション病院 | 健康科学大学クリニック |
| デイサービスいろは | 介護老人保健施設はまなす | 山梨大学医学部附属病院 |
| 山梨県立中央病院 | 甲府脳神経外科病院 | 甲府城南病院 |
| 国立病院機構甲府病院 | 甲府共立病院 | 巨摩共立病院 |
| 竜王リハビリテーション病院 | 恵信梨北リハビリテーション病院 | 恵信甲府病院 |
| 城東病院 | おおくに訪問リハビリテーション | 訪問リハビリテーションつゆき |
| 竜王リハビリテーション病院訪問リハビリテーション事業所 | 甲府共立診療所 | フルリール甲府 |
| 介護老人保健施設ひばり苑 | 新藤歯科医院 | ノーサイド甲府 |
| NPO 法人むすぶ | しもべ病院 | 北杜市立塩川病院 |
| 山梨県立あけぼの医療福祉センター | | |

実行委員長 佐々木蘭子 (春日居総合リハビリテーション病院)



今年度もオンライン開催となりましたが、80名を超える方が県内外から参加し大会を盛り上げてくださいました。今回は当土会の「顔のみえる県土会」の関係性を再構築すべく施設紹介を企画しました。そしてもう一つ、大会までの実行委員の活動を知ってもらい、次回へつなげるように大会までの過程を紹介するといった企画を立てました。これからも皆様とともに言語聴覚領域の未来をつくっていきたいと思います。多くの方のご協力をいただき第15回学術大会を無事に終えることができました。この場を借りて感謝申し上げます。次回はぜひ集合開催でお会いしお話しできることを願っております。

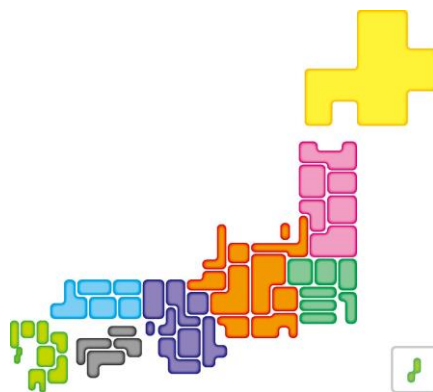
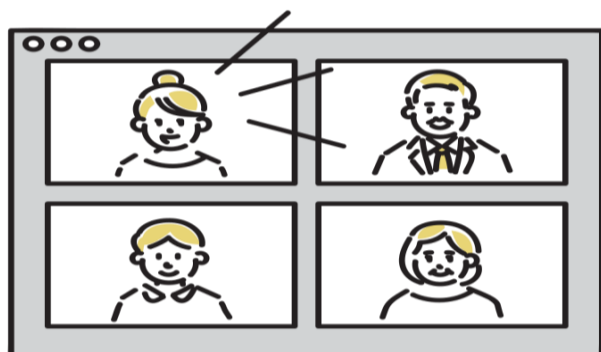
令和 5 年度秋期都道府県士会会長会議報告

一般社団法人山梨県言語聴覚士会 副会長 赤池 洋

令和 5 年 11 月 11 日(土)、秋期都道府県士会会長会議がハイブリッド形式で開催されました。内容は以下の通りとなります。

1. 都道府県士会プラットフォームの使用、賠償責任保険に関するアンケート、任意保険の申込方法追加、令和 5 年度失語症者向け意思疎通支援者指導者養成研修（修了者 165 名、累計修了者 960 名）について報告された（総務部）。
2. 第 5 回チーム医療推進学会(令和 6 年 2 月 25 日)の開催案内について報告された(広報部)。
3. 実務者講習会(成人基礎編；介護保険部と合同開催)の開催について報告された(医療保険部)。
4. 地域リハビリテーション活動支援に資する人材育成推進コース修了者向け「加齢性難聴支援研修会」の開催、地域リハビリテーション活動支援都道府県言語聴覚士会担当者会議の開催案内について報告された（介護保険部）。
5. 実務者講習会（小児編）の開催、2023 年度 JDD ネット第 19 回年次大会の開催案内について報告された（障害福祉部）。
6. 学校教育連携担当者連絡協議会の開催案内について報告された（学校教育部）。
7. 2024 年度基礎講座講師養成研修会の開催案内、2024 年度認定言語聴覚士講習会、全国研修会の開催案内について報告された（生涯学習部）。
8. 臨床実習指導者講習会（今後の予定を含め）について報告された（養成教育部）。
9. 全体ディスカッションでは①令和 6 年度診療報酬・介護報酬・障害福祉サービス等報酬トリプル改定について②士会協会間の連携体制構築について活発な意見交換がされた。
10. 第 24 回日本言語聴覚学会（愛媛県）では総参加人数 2228 名（現地 1062 名）が参加された。第 25 回日本言語聴覚学会は令和 6 年 6 月 21 日、22 日（ハイブリッド形式予定）に兵庫県で開催されることが報告された。

詳細は協会ホームページや情報誌 STANDUP をご覧ください。また、診療報酬を含め常に新しい情報が日々更新されていますので併せてご覧ください。今後も協会と結束しながら事業展開をしてまいります。会員の皆様のご理解とご協力をお願いします。



令和5年度山梨県失語症者向け意思疎通支援者養成講習会 スキルアップ研修会と修了式の報告

第8回 10月21日(土)：甲府市北公民館
「湯村周辺での昼食・買い物支援」



第9回 11月4日(土)：山梨フルーツ公園
「散策とバーベキュー支援」

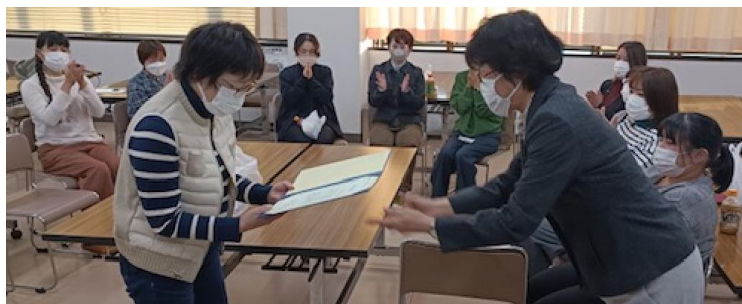


第10回 11月25日(土)：山梨県立青少年センター「失語症全国大会振り返りと要約筆記練習」
座談会参加支援者10名のスキルアップ研修会(要約筆記)の感想(抜粋)

- ・要約筆記を実際の講演での支援場面で活用するには、事前知識がかなり必要と感じた
- ・漢字単語を的確に言い換えて表記する事が大切であると感じたが、同時に難しさも感じた
- ・記号など、皆の共通認識のようなものをうまく活用することも手段の一つである事を学べた(☆=喜び等)
- ・実際に話していることを要約している間に話すスピードが速いので要約が追いつかず話の内容を忘れてしまうことや要約している途中で当事者の方に話しかけられることがあり何を要約していたのか分からなくなってしまうことがあった

今年度の養成講習会スキルアップ研修は計10回実施できました。全国大会以後の研修会は毎回10名前後の参加にとどまりましたが、写真のように失語症のある方々の明るい表情を見ると意思疎通支援者の存在意義は明白です。最終日には大会の要約筆記方法についての振り返りができ、この支援技術は支援者ばかりでなく失語症を扱うSTにとっても大きな収穫となりました。また座談会では、来年度のスキルアップ研修について、派遣事業での取り組みに生かせるように失語症についての知識をさらに深める内容やSTの仕事についても要望が多く寄せられました。県の登録支援者は30名ですが、5回以上の参加が14名いたことは支援者の意識の高さを裏付けてくれました。そして全10回出席の中込さんに修了証が授与されました。今後ともこの事業へのご協力をよろしくお願い申し上げます。

山梨県失語症者向け意思疎通支援事業運営委員会 委員長 赤池 三紀子



三二講座

高齢者の適切な水分補給について ～イオンサポートとろみタイプのご紹介～

株式会社ヘルシーネットワーク 山梨県担当 青柳 武士

平素より大変お世話になっております。弊社は治療用・介護食品の通販会社であり、年間 35 万軒以上の食事療法・食介護をされているご家庭へ商品を宅配便でお届けしています。今回は高齢者の脱水予防についてと取り扱い製品の中でもオススメの「イオンサポートとろみタイプ」をご紹介します。

人間の体の約 60%は水分で、運動中だけでなく入浴中や睡眠中、普段の生活の中でも水分は失われています。特に高齢者は脱水状態に陥りやすい傾向にあり日々の予防と早期発見、適切な水分補給が大切です。

■水分の出入り ※1 日量（成人の場合）

《出る水》

- ・無意識による皮膚や呼吸からの蒸発：1 ℓ
- ・便：200～300 ml
- ・尿：1～1.5 ℓ

《入る水》

- ・食事：1 ℓ
- ・食事以外の飲み物：1 ℓ～1.5 ℓ
- ・体内の代謝で作られる水：200～300 ml

■高齢者が脱水に陥りやすい要因

体内から出る水・体内に入る水のバランスが崩れると脱水になりやすくなります。

- 《出る水》
- ・熱、嘔吐、下痢などによる水分喪失の機会が増える
 - ・腎機能の低下によりトイレに行く回数が増える
 - ・服薬の影響 など

- 《入る水》
- ・加齢に伴い体内の水分や水分を蓄える筋肉、代謝水が減る
 - ・喉の渇きを感じなくなったり誤嚥などを避け、水分の摂取量が減る
 - ・食事の量が減る など



■脱水予防のポイント

1 日に摂る水分の目安は『食事(間食含む)+飲み物』で約 2 ℓ

⇒最低でも約 1 ℓは必要です！

※一度に大量の水分を取ると心臓や腎臓に負担をかける可能性があります。水分補給は回数を分けて少しずつ摂ることがポイントです。

■イオンサポートとろみタイプのご紹介

「イオン飲料」と「とろみ付け」が同時に作れます！

【特長】◎水に溶かすだけでとろみ飲料が作れます。

水 1 ℓに 1 袋混ぜるだけ。計量の手間がないので簡単です。

誰が作っても失敗しないので安心してお使いいただけます。

◎毎日の水分補給、電解質補給に。

- ・スイートレモン味 ⇒すっきりとした後味のスイートレモン味。

入浴後、リハビリ後の水分補給に。

- ・緑茶味 ⇒ほどよい甘みで飲みやすい緑茶味。食事時の水分補給に。



出典：株式会社ヘルシーネットワーク
「はつらつ食品カタログ」



商品の詳細はこちらから
ご覧ください
(ヘルシーフード株式会社)



県士会 お仕事紹介

認知症対策推進委員会

笛吹中央病院 山田 徹

認知症対策推進委員会は、ここ3年はコロナ禍の影響で活動も大きく制限されていましたが、感染症も5類に移行された今年は、認知症啓発イベントや認知症の人と家族の会のイベント等地域の活動に合わせて当委員会でも活動を再開することが出来ました。

9月23日に甲府駅北口広場にて「RUN 伴やまなし2023」が開催され、会場ブース内で情報展示活動を行いました。当日は認知症の当事者、そのご家族、施設関係者・支援者等多くのランナーが酷暑残る中、甲府駅北口から南口県庁前の間をランナーでタスキを繋ぎました。情報展示ブースでは、STの仕事についての説明や、認知症の方・そのご家族の方の対応方法・支援等についての情報提示を行いました。当事者、ご家族、施設職員など多くの方がSTブースに訪れていただき、認知症以外にも摂食嚥下障害、加齢性難聴等についての質問や悩みなどの相談対応をしました。

12月には認知症の人と家族の会山梨県支部・峡南地域ともしびの会巡回交流会にて「言語聴覚士の仕事～豊かなコミュニケーションを支える～」をテーマに講演をする機会を頂きました。峡南地域はSTの所属施設が少なくSTと顔を合わせることがほとんどないとの事で、熱心に講演を聞いてくださり、講演後にも積極的に質問をされる方がいました。地域での活動においてまだまだ十分に活動ができておらず、今後の課題も見えてきました。

これまで築き上げてきた行政・地域とのつながりを再開させていながら、新たなつながりを作れるよう活動を続けていきたいと考えています。会員に向けては、地域の状況や認知症施策についての情報提供や学びの場を提供できるよう研修会・勉強会の企画開催も行っていきたいと考えています。



RUN 伴やまなし 2023

活動の様子

上段写真：認知症対策委員
メンバー尾形 ST、河西事務
局長、市川 ST

下段写真：会場の甲府市北
口よっちゃんばれ広場



第5回 理事会議事録

日 時：令和5年8月25日(金)19時00分～20時20分
出席理事：内山、赤池(三)、赤池(洋)、中村、石垣、市川、桂川、
佐々木、高橋、舟越、山田、吉澤、河西

欠席理事：元木

<協議事項>

1. 第1回学術講演会の講師は摂食嚥下障害の訓練について福岡達之先生へ依頼することが承認された。
2. 新卒者研修会の開催月と内容が決定した。

<報告事項>

1. 山梨県リハビリテーション病院・施設協議会より補助金の入金、会費の納入状況について報告された。
2. 第2回症例検討会の開催について報告された。
3. 山梨県民間病院協会 PTOTST 部会部長会議、第1回地域包括ケア推進会議、第15回甲府市在宅医療・介護連携推進会議代表者会議について報告された。
4. 第2回山梨県訪問リハビリテーション委員会について報告された。
5. インクルーシブ教育推進事業実績について報告された。
6. 第12回「ふじやま」定例会(失語症者向け意思疎通支援者養成講習会スキルアップ研修との合同開催)について報告された。
7. 令和5年度第4回失語症者向け意思疎通支援者養成講習会の開催、失語症者向け意思疎通指導者養成研修会のオンライン受講者、甲府市派遣支援について報告された。
8. 第15回学術大会演題採択委員会、第2回実行委員会の開催、施設紹介ならびに学術大会準備～開催までの過程動画を作成することが報告された。

第6回 理事会議事録

日 時：令和5年9月13日(水)19時00分～19時57分
出席理事：内山、赤池(三)、赤池(洋)、石垣、市川、桂川、佐々木、
高橋、舟越、元木、吉澤、河西

欠席理事：中村、山田

<協議事項>

1. 第2回学術講演会の講師は、失語症者の自動車運転をテーマに佐藤卓也先生へ依頼することが決定した。
2. ヴァンフォーレ甲府「こども夢プロジェクト」が今年度より休止となるため、「VENTRISE」に法人会員として入会する事が承認された。
3. 第15回学術大会の参加申込期日が県士会員、非会員毎に決定した。
4. 前田泰子 ST の入会が承認された。

<報告事項>

1. 令和6年度具施策及び予算編成に対する要望事項のヒアリングを受けたことが報告された。
2. 県士会 NEWS56 号の原稿執筆依頼・校正作業の実施状況、HP 更新状況について報告された。
3. 災害時安否確認システム第2回予行演習の実施、山梨 JRAT 第2回運営委員会について報告された。
4. 第14回訪問リハビリテーション地域リーダー会議について報告された。
5. 第1回特別支援教育研修会の開催が報告された。
6. 第5回失語症者向け意思疎通支援者養成講習会の開催が報告された。

第7回 理事会議事録

日 時：令和5年10月20日(金)19時00分～20時12分
出席理事：内山、赤池(三)、赤池(洋)、石垣、市川、桂川、佐々木、
高橋、舟越、元木、河西

欠席理事：中村、山田、吉澤

<協議事項>

1. 県士会 NEWS57 号に学術大会、失語症者向け意思疎通支援事業報告について掲載することが承認された。

<報告事項>

1. 第3回症例検討会、第1回新卒者研修会開催が報告された。
2. 関東圏都県士会会長会議、山梨県リハビリテーション専門職団体協議会第2回理事会、令和5年度外来リハ・訪問リハ・訪問介護・通所リハ・通所介護に関する実態調査結果について報告された。
3. JIMTEF 災害医療研修ベーシックコースへの参加、山梨県リハビリテーション専門職団体協議会第1回災害対策支援委員会会議について報告された。
4. RUN 伴やまなし2023への参加について報告された。
5. 失語症友の会「ふじやま」の失語症全国大会 in やまなしへの参加、ふじやま便作成について報告された。
6. 第4回山梨県リハビリテーション専門職合同学術大会の実行委員として15名が選出されたことが報告された。
7. 日本語聴覚士協会代議員選挙に赤池洋副会長が立候補することが報告された。

第8回 理事会議事録

日 時：令和5年11月24日(金)19時00分～20時14分
出席理事：内山、赤池(三)、赤池(洋)、中村、石垣、桂川、佐々木、
舟越、元木、山田、吉澤、河西

欠席理事：市川、高橋

<協議事項>

1. 第3回学術講演会の講師は、難聴について三瀬和代先生に依頼することが承認された。第5回症例検討会は、現地開催の方向で準備を進めることとなった。

<報告事項>

1. 第2回生涯学習プログラム基礎講座、第1回学術講演会の開催について報告された。
2. 令和5年度日本語聴覚士協会秋期都道府県士会会長会議、顔の見える関係づくり交流会について報告された。
3. 令和5年度「失語症者向け意思疎通支援者指導者養成研修」、第8回・第9回失語症者向け意思疎通支援者養成講習、甲府市派遣支援、ニーズシーズマッチング交流会2023年度東京会場への失語症者向け意思疎通支援者派遣決定について報告された。
4. 第15回学術大会実行委員会より進捗状況が報告された。
5. 高校生一日リハビリテーション体験の実施が報告された。

開催方法：オンライン会議

議長：内山量史

書記：佐藤里実、佐藤淳貴、望月智佳

議事録作成：河西祐子

<各局・委員会からのお知らせ>

事務局

<総務部>

- 令和5年12月末現在の会員動向についてお知らせします。
正会員数 138名 賛助会員 6団体
- 新入会

前田 泰子先生（ツル虎ノ門外科・リハビリテーション病院）
年度末に向けて異動の多い時期かと思えます。会員名簿記載事項に変更のある方は速やかに「会員異動届」をご提出ください。届出用紙は県土会HPからダウンロードできますので事務局まで郵送またはFAXでお送りください。ご協力をお願いいたします。

<財務部>

多くの会員に会費を納入していただきました。ご協力ありがとうございました。未だの方は納入をお願いいたします。

学術局

昨年は学術局主催の講演会や研修会にご協力いただきありがとうございました。本年もより充実した内容の講演会や研修会を企画できるように努めてまいりますので、ご参加の程よろしくお願い致します。

<教育部>

- 第5回 新卒者研修会
日時：令和6年1月30日（火）18：45～20：00
会場：Zoomで開催
内容：失語症
講師：元木 雄一朗先生（甲州リハビリテーション病院）
- 第6回 新卒者研修会
日時：令和6年2月予定 18：45～20：00
会場：Zoomで開催
内容：摂食嚥下障害について
講師：佐々木 蘭子先生（春日居総合リハビリテーション病院）
- 第7回 新卒者研修会
日時：令和6年3月予定 18：45～20：00
会場：Zoomで開催
内容：構音障害について
講師：石垣 亮太先生（甲斐リハビリテーションクリニック）
萩原 由香先生（山梨リハビリテーション病院）

<生涯研修部>

○学術講演会

- 第2回 学術講演会
会場：Zoomで開催
日時：令和6年2月14日（水）18：30～20：00
内容：「加齢性難聴と聴覚リハビリテーション」
講師：三瀬 和代先生（帝京大学医学部附属溝口病院）
- 第3回 学術講演会
会場：Zoomで開催
日時：令和6年3月14日（木）18：30～20：00
内容：「失語症者の自動車運転再開リハビリテーション」
講師：佐藤 卓也先生（新潟医療福祉大学）

○基礎講座

- 第3回基礎講座
会場：Zoomで開催
日時：令和6年1月25日（木）18：30～21：00
内容：①臨床のマネージメントと職業倫理
②臨床業務のあり方、進め方
講師：中嶋 崇博先生（山梨県立中央病院）
武井 徳子先生（甲州リハビリテーション病院）

○症例検討会

- 第5回 症例検討会
会場：Zoomで開催
日時：令和6年2月15日（木）18：30～21：00

社会局

<渉外部>

- 令和6年度県施策及び予算編成に対する要望事項のヒアリングが9月5日に自民党山梨県連会館で開催され、赤池三紀子副会長、中村副会長、河西事務局長が参加されました。
- 関東圏都県土会会長会議が9月14日（赤池三紀子副会長、中村副会長、赤池洋副会長、河西事務局長が参加）、10月16日（中村副会長、赤池洋副会長が参加）に開催されました。
- 山梨県リハビリテーション専門職団体協議会第2回理事会が9月28日に開催され、内山会長、中村副会長、赤池洋副会長が参加されました。
- 令和5年度がんリハビリテーションネットワーク協議会が10月16日に開催され、内山会長が参加されました。
- 令和5年度在宅医療介護支援体制強化事業が10月24日に山梨県医師会館で開催され講師として高橋理事が参加されました。
- 日本言語聴覚士協会秋期都道府県土会会長会議が11月11日に開催され、当士会代表とし赤池洋副会長、協会代表として内山会長が参加されました。
- やまなし地域リハーケアを考える会が12月6日に開催され、赤池三紀子副会長、舟越理事が参加されました。
上記以外にも、日本言語聴覚士協会や他団体との連携・協力を行いながら多くの事業に参加されました。

<広報部>

- 日本言語聴覚士協会「言語聴覚の日」関連イベントの報告を行いました。内容は高校生の一日リハビリテーション体験についてです。日本言語聴覚士協会のホームページに掲載されますのでご覧ください。
- 一般の方々に向けた言語聴覚療法の広報及び啓発活動を図っていきます。新型コロナウイルス感染症の5類移行に伴い、少しずつイベント活動が再開されていますので、感染対策に努めた中での広報活動に参加していきたいと思っております。

<会報編集部・ホームページ管理部>

- 会報誌「県土会 NEWS57号」を発行致しました。今後多くの会員の皆様に見ただけのように会報誌の内容を充実させ、当士会活動の紹介だけでなく会員間のコミュニケーションツールにもなるよう情報を掲載していきます。
- ホームページでは当士会や言語聴覚士の広報活動の一助となるように常に新しい情報の収集・発信を推進していきます。また、ホームページトップページ上段に掲載する写真を会員の皆様から募集しています。写真は当士会活動の様子や会員の集合写真、また会員から募集した山梨県の季節、名所の写真などをホームページへ掲載しています。ご協力をお願い致します。

災害対策支援委員会

- 第3回災害時安否確認システム予行演習を令和6年2月に開催致します。会員の安否状況と各地域の被災状況を確認することで緊急性のある情報を迅速に伝えることなどを目的としています。多くの会員の皆様に参加していただきたいと思っております。
- 昨年度より日本言語聴覚士協会主催の災害基礎研修に災害対策支援委員が参加しています。2月21日（水）に伝達研修会をオンラインで開催致します。皆様のご参加お待ちしております。

在宅 HEALTH CARE FOOD 通信販売

病院で使われている医療・介護用食品をご家庭にお届けしています。

高栄養・やわらかい飲み込みやすいサポート
送料無料で届く
P2-12

↑カタログのご請求はこちらどうぞ♪

はつらつ食品カタログにはやわらかさの程度や形態別に分類されたおかずやデザート、とろみ調整食品や濃厚流動食品が掲載されています。また、栄養指導で役立つコラムも多数ご紹介しています！

受付時間 月～土 9:00～17:00 (日・祝日は休業日となります)

〒191-0012 東京都日野市日野756
TEL 0120-236-977
FAX 0120-478-433

株式会社ヘルシーネットワーク
https://www.healthynetwork.co.jp

やさしい聴こえのお手伝い

- 認定補聴器技能者在籍
- 補聴器の無料体験
- 支援法補聴器取り扱い

認定補聴器専門店
なかだて補聴器センター

甲府店 ☎0120-29-3321 玉穂店 ☎0800-800-8173
甲府市中央5丁目2-29 中央市若宮29-3 T-ウエスト

ジェントル スティム

リハビリテーションのための
新たな電気刺激装置

痛くない療法
感覚刺激
使いやすい

foodcare JAPAN
TEL: 042-700-0039 www.food-care.co.jp

つるりんこ シュワシュワ

飲み込みにくいと感じる方が
おいしく、楽しく炭酸飲料を摂取するために

他にも、豊富なラインアップがあります。資料・サンプル等のご請求はお気軽に。

☎0120-52-0050 クリニコ 検索
受付時間：平日 9:30～17:30
土日祝日・年末年始・3/1 除く
https://www.clinico.co.jp

高浜乳業グループ 炭酸飲料部門
株式会社クリニコ

私たちはシャント発声のプロフェッショナルです

喉頭を摘出された方々のQOL向上のために、シャント発声のリハビリテーションや患者さまを対象にした勉強会を行っています。シャント発声について興味のある言語聴覚士の皆さまには、実際のリハビリテーションの様子や勉強会を公開しておりますので、お気軽にお問合せください。

Atos
Breathing-Speaking-Living

株式会社アトスメディカルジャパン
〒104-0033 東京都中央区新川1-3-17 新川三幸ビル2F
tel 03 4589 2830 / fax 03 5540 0890
info.jp@atosmedical.com

Pepti-Sal 唾液の子カラで健康と笑顔を
Oral Health for Everyone

デリケートなお口をやさしくケアし
お口の環境を健康に保ちます

Pepti-Sal (ペプチサル) とは
「Peptide (ペプチド)」 + 「Saliva (唾液)」の造語。
唾液の子カラに着目して開発された
低刺激性のオーラルケア製品です。
要介護の方の口腔ケアにもおすすめです。

T&K ティーアンドケー株式会社
www.comfort-tk.co.jp

編集後記

12月17日に第15回学術大会が「つながり つながる つくる～言語聴覚領域の未来～」をテーマにオンラインにて開催されました。

今回は、実行委員、発表者両方の立場で参加させていただきました。学術大会が開催されるまでの過程動画やコロナによって希薄になってしまった顔の見える関係性を取り戻すために作成された施設紹介動画などの企画もあり、見どころ満載の学術大会となりました。

私にとっては実行委員も発表者も初めての経験だったので、不安や緊張など様々な気持ちを抱えていました。しかし今では、とても貴重な経験をさせていただくことができ、挑戦してみてよかったと思っています。

今号は、学術大会 についてのページが多く企画されています。様々な視点から学術大会を知ることができる と思いますので、隅から隅までぜひ目を通してみてください。(志摩美月)

一般社団法人山梨県言語聴覚士会ニュース

<発行所> 一般社団法人 山梨県言語聴覚士会
<発行人> 内山量史
<編集> 一般社団法人山梨県言語聴覚士会 社会局会報編集・HP管理課

石和 共立病院 原田史佳
春日居総合リハビリテーション病院 志摩美月
甲府城南病院 秋山仁哉・桂川謙祐
湯村温泉病院 河村有美
山梨大学医学部附属病院 高木建汰
赤池 洋

<事務局> 春日居総合リハビリテーション病院 言語療法科内
〒406-0014 山梨県笛吹市春日居町国府436
TEL0553(26)4126 FAX0553(26)4366
<発行日> 2024年2月1日 第57刊